2019.6.21

SailGP 第 3 戦ニューヨーク大会初日。日本は暫定トップで最終日へ

スタートラインはマンハッタンの目の前 Japan SailGP Team　Simon Bruty@SailGP

※報道用の公式写真は以下のリンクよりダウンロードできます(登録が必要です)
https://sailgp.photoshelter.com/index

ニューヨーク（アメリカ） – SailGP(セールジーピー)第 3 戦ニューヨーク大会初日は、マンハッタンの摩天楼を吹き抜ける不規則な風と強い潮の流れに翻弄される 1 日となりました。イギリスチームはレース前の練習中にコントロールを失い、転覆するアクシデントに見舞われてしまいます。幸いセーラーにケガはありませんでしたが、ウイングセールが破損したことで今日のレースに出場することができなくなりました。

5 艇でスタートした第 1 レース。レースコースは場所によって風の強さがまったく違います。うまく風をつかめばフォイリングしますが、風のない場所では潮の影響もあり前に進むのもやっとです。そんな難しいコンディションをうまく乗り切りトップフィニッシュしたのは、ベテラン揃いのオーストラリアです。日本は 2 位でニューヨーク最初のレースを終えました。フランスはレース中に 2 回、あわや転覆かというヒヤリとさせる場面がありました。

続く第 2 レース。日本はスタート前に航路侵害でペナルティーを取られてしまったため、最後尾からスタートします。しかしすぐに加速し、先行チームがレース艇のコントロールに手まどっている間に逆転に成功。途中、中国とオーストラリアに追いつかれそうになる場面もありましたが、しっかりとコースを読み、リードを保ってトップフィニッシュしました。

第 3 レースは中国がスピードに乗って良いスタートを切ります。その後を追う日本。2 艇はしばらく併走しましたが、最初のジャイブ(風下に向う時に行う方向転回)で中国が失敗。ボートハンドリングの差が明暗を分けることになり逆転に成功した日本は、風の強さや吹く方向が激しく変わる難しいコンディションでも慌てることなく、今日 2 度目のトップフォニッシュを飾りました。

大会初日、日本は 3 レース中 2 レースで 1 位となり 29 ポイントを獲得。2 位のオーストラリアに 1 ポイントの差を付けて暫定トップに立っています。

【セーラーのコメント】

「予想以上に難しいコンディションでした。日本チームは風がなくなって船体が着水してからの立て直しが他のチームより早いので、それが成績に結びついていると思います。ネイサンはそのあたりのボートハンドリングが本当にうまいですね。明日も同じように難しいコンディションになると思いますので、しっかりやっていきたいです」（吉田 雄悟／グラインダー）

「すごく神経を使う難しいコンディションでした。場所によって風の強弱が大きく、コース選択がうまくいかないとリードしていても逆転されてしまいます。2 レース目、3 レース目はそのあたりがうまくできました。明日もがんばります」（ネイサン･アウタリッジ／ヘルムスマン）

練習前の転覆したイギリスチーム　Beau Outteridge@SailGP

【本日の Japan SailGP Team クルーリスト】
第 1 レース
ヘルムスマン：ネイサン･アウタリッジ
ウィングトリマー：イアン･ジャンセン
フライトコントローラー：ルーク･パーキンソン
グラインダー1：笠谷 勇希
グラインダー2：吉田 雄悟
第 2 レース
ヘルムスマン：ネイサン･アウタリッジ
ウィングトリマー：イアン･ジャンセン
フライトコントローラー：ルーク･パーキンソン
グラインダー1：笠谷 勇希
グラインダー2：高橋レオ
第 3 レース
ヘルムスマン：ネイサン･アウタリッジ
ウィングトリマー：イアン･ジャンセン
フライトコントローラー：ルーク･パーキンソン
グラインダー1：森嶋 ティモシー
グラインダー2：高橋 レオ

【ニューヨーク大会成績】(3 レース終了時点)
1 位：日本　　29 ポイント
2 位：オーストラリア 28 ポイント
3 位：中国　　22 ポイント
4 位：フランス　　21 ポイント
5 位：アメリカ　　20 ポイント
6 位：イギリス　　12 ポイント(DNS＝レースに参加しなかったため最低ポイントから減点)

【SailGP とは？】
ヨットレース界に新風を吹き込むプロフェッショナルのチャンピオンシップです。
レース艇は全長 50 フィート、飛行機の翼のような形状のウイングセールと水中翼を搭載し、最高速度 50 ノット(時速約 100 キロ)に迫るスピードで疾走するフォイリングカタマラン「F50」です。F50 はすべてが全く同じ同型艇。国を代表するセーラーたちがその真の実力を競います。
開幕シーズンとなる 2019 年はイギリス、オーストラリア、アメリカ、フランス、中国そして日本の６カ国が参加し、豪シドニー大会(２月)を皮切りに、米サンフランシスコ大会(５月)、米ニューヨーク大会(６月)、英カウズ大会(８月)、仏マルセイユ大会(９月)の 5 大会が予定されており、ファイナルのマルセイユ大会では総合優勝チームに 100 万 US ドルの賞金が渡されます。

【レース艇 F50 仕様】
全長 50 フィート＝15m
全幅 28 フィート＝8.8m
ウィングセール高＝24m
総重量＝約 2.5 トン
乗員＝5 人乗り

【得点方法】
SailGP は**高得点方式**(順位が上のチームの得点が高い)を採用しています。
フリートレースでは、**1 位＝10 点**、**2 位＝9 点**と順位が下がることに 1 点ずつ得点が減り、**6 位＝5 点**となります。フリートレースの総合得点が高い上位 2 チームが最終のマッチレースに進み、**マッチレースに勝ったチームが優勝**となります。フリートレース 1 位のチームがマッチレースに承知した場合はフリートレースのポイントに 1 ポイントを加えた得点が最終得点となります。フリートレース 2 位のチームがマッチレースに勝った場合は、フリートレース 1 位のチームより 1 ポイント高くなるようポイントが与えられます。**マッチレースの勝者が常にリーダーボードのトップ**になるシステムとなっています。各チームの点数は最終のマルセイユ大会まで引き次がれ、フィアナルビッグマッチの優勝チームが 100 万米ドルの賞金を手にします。

【ニューヨーク大会スケジュール】(天候等により変更する可能性があります)

6月22日（土）
17:10～第4レーススタート（6チームによるフリートレース）
17:38～第5レーススタート（6チームによるフリートレース）
18:07～第6レーススタート（上位2チームによるマッチレース）
18:30頃～表彰式・記者会見
日本時間：6月23日（日）
17:10～第4レーススタート（6チームによるフリートレース）
17:38～第5レーススタート（6チームによるフリートレース）
18:07～第6レーススタート（上位2チームによるマッチレース）
18：30頃～表彰式・記者会見

【日本からのレース観戦方法】
DAZN：　全レースの生放送、リプレイ放送、ハイライト放送
https://www.dazn.com/ja-JP
SailGP APP：補足データ付きライブ動画、全レースのリプレイ(iOS/Android)
Apple Store よりダウンロード(SailGP APP で検索)
Facebook：　全レースをライブ配信
https://www.facebook.com/SailGP/
YouTube：　全レースをライブ配信
https://bit.ly/2lZR3n4

JAPAN SAILGP TEAM MEDIA CONTACT
西 朝子（Tomoko Nishi）tnishi@sailgpjpn.com // +1(415)231-6625